



【回想法・学習療法デイサービス】

雨が上がったとたん朝から「セミ」シャワー。
 今年はコロナや大雨に気をとられて季節の変化に気が回らない。6月から生活習慣病の町健診で忙殺。これを機会に死亡頻度に基づく癌検診を勧めるが、コロナ第2波で多くの方が更なる通院に乗り気でない様子。わからないでもない。

病気、災害など、人(に限らず世の中全般)に起こる事は、その程度も含めて多くは情け容赦のない確率で生じるものだなと思う。それらを避けようと情報を集め対処した分は多少減るかな。ただし、100%確実なのは数10年後には、自分も回りの人も全員死ぬという事だ。それを忘れられるのは人間の本能だが、火の粉が振り掛かった瞬間に思い出し焦り、夜も眠れなくなる。その気持ちもいずれ時間と共に収まるが期間は人による。苦しみが強いほど耐えられないし、理解者が身の回りに居るほど安らぐ。いっそ「ボケ」てしまえば幸せだが、どうなるかの正しい予測は不可能だ。何も思い煩わずポックリ逝くのが最上だが、自殺するのは辛い。神様に縋り心で相談するのも、心を落ちつかせてくれるだろう。

在宅で癌で亡くなる方がここ数か月多かったが、難治疾患を乗り越えようと努める方も診た。行く先を想像し、様々な選択肢からその都度よく考え選び、たまにじたばたしながら生活していく他なさそうだ。唯ひとつ言えるのは、あの時ああすれば良かったなどという後悔は絶対したくない。振り返っても自分が選んだ方向が正しかった。あれしかなかった、と思えるよう日々を送りたいものだと思う。

ハーブ内科皮フ科 理事長 竹内 秀俊

熱中症 予防



発行元: (医)ハーブ内科皮フ科・(株)ハーブライフケア
 所在地 知多郡阿久比町横松宮前 67
 TEL 0569-49-2752/FAX 0569-49-2753

スタッフブログを毎週更新中!

ハーブ内科 検索

回想法デイサービスでは、お帰りの前の10分間に「ずんずんタイム」を行っています。「ずんずんタイム」とは… まずは、大きな古時計のメロディーに合わせて、皆さんで足踏みをします。椅子に座ったままリズムよく足踏み。疲れてしまったら、休み休みでいいんですよ。



足踏みの後は、クイズ大会です。難しい漢字のクイズや、歌の曲名あてクイズ、思わずプツと笑ってしまうような“なぞなぞ”ですが、皆さん大きな声で答えてくださいます。一日の最後に笑顔でお別れして、そして次回のご利用を楽しみにしていただきますように。

【ケアマネ】

世の中が新型コロナウイルスで不安を抱える中、気付けばもう8月。今年のゴールデンウィークは自粛でどこにも行けず、「我慢」の連休となりました。6月中旬には県をまたぐ移動緩和もされ、5月に帰省できなかった方々が、お盆こそはと計画をされていた方もみえたのではないのでしょうか。

今やタブレット等の端末を利用するオンライン帰省という新しい方法で、家族に会えない寂しさを解消している方々もみえます。

私の担当するご利用者様も、ご家族が端末を準備され、ご利用者様自身は電話を受ける操作のみを覚えて、定期的にお孫さん達とテレビ電話を楽しまれています。家族交流にもいろいろな工夫がされているようですね。

【くもん学習療法】

ハーブデイサービス・グループホームでは、認知症予防・維持改善のため、くもんの学習療法を取り入れています。



いつも物静かなM子様。デイサービスでは、新聞をじっくりと読まれるのが日課です。それは、とてもクールビューティーなお姿です。ですが、くもん学習の時には、M子様の素敵な笑顔に出会えるのです!

子供の頃の戦時中疎開した時のお話や、お母様の思い出などを聞かせて下さいませ。素敵な笑顔で、ウィズコロナのご時世ですので、距離を取りながらになりますが、コミュニケーションの大切さ、素晴らしさを感じています。